



オープンソースから オープンリソースへ

財団法人 ソフトピアジャパン
CIO兼企画室長 丹羽 義典



ソフトピアプロジェクト



→ 「IT」をキーワードとする
岐阜県の地域振興プロジェクト

情報の産業化
産業の情報化

地域の情報化
人材育成

ソフトピアプロジェクト



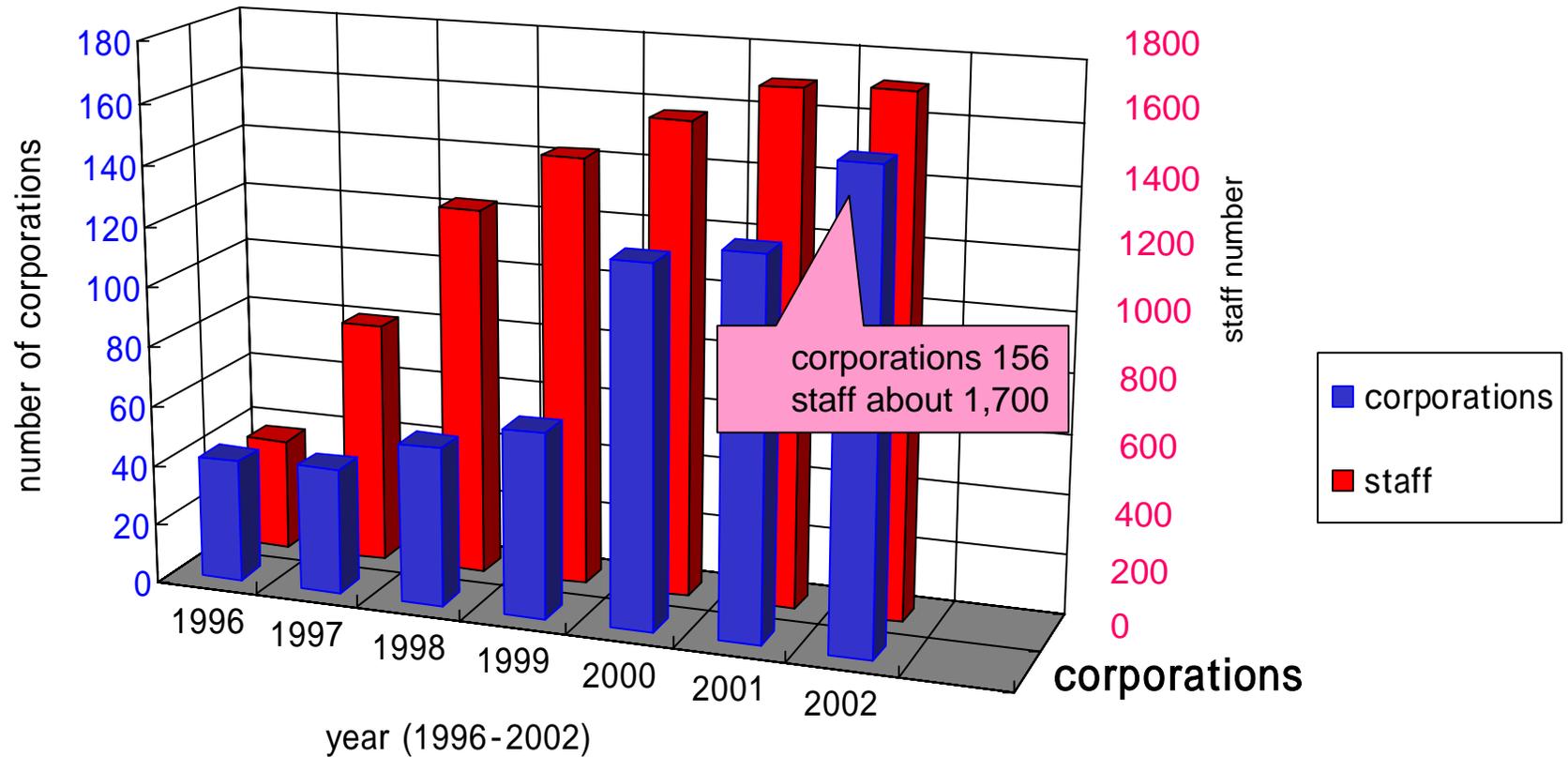
→ 立地条件

12.7ha 岐阜県大垣市（日本の中心）

1996年6月～



ソフトピアプロジェクト



岐阜県の情報化



- 
- 電子県庁
 - A S P 方式
 - 1 2 0 B P R
 - スーパーハイウェイ
 - L G W A N
 - 公的個人認証実証実験
 - 岐阜ポータル

岐阜県のオープンソース



- オープンソース推進協議会
 - 大学、行政、民間で構成
 - セミナー、研修、勉強会等
- 目 標：
 - 産学官連携によるオープンソースの普及

オープンソースのメリット・デメリット



→ メリット

- ベンダ非依存 特定のベンダによらない
- 低コスト 導入に係るコストが低い

→ デメリット

- 保守 サポート体制がない
- 責任 利用主体が責任

岐阜県が考えるメリット・デメリット



→ メリット

- 地元企業の受注機会拡大
- 企業間連携の強化

→ デメリット

- 現行システムの移行が困難
- 「方言」アプリの蔓延

ソフトピアジャパンの情報化推進



- 
- ソフトピアジャパンの情報化推進
 - 共同アウトソーシング
 - 地域の情報化
 - ベンダーとの連携
 - オープンソース推進協議会
 - パワーベンチャー育成事業 (マイクロソフト(株))
 - JAVAセンター (サン・マイクロシステムズ(株))

岐阜ポータル計画

ポータルサイトの背景及び問題点

- 各地のポータルサイトの乱立
- 統一化した情報提供の欠如
住民への情報提供を阻害

住民は必要な情報を入手できない！

行政情報の効果的提供手段の実現

- ・コンテンツの分類・整理と提供インターフェースの統一化
- ・標準インターフェースの普及
- ・標準化の指導

オープンリソース推進協議会

メンバー

- 会長： 岐阜県新産業労働局長
- 委員： 岐阜県国際情報科学芸術アカデミー
- ・岐阜経済大学
- ・民間企業
- ・(財)ソフトピアジャパン

問題解決

オープンリソースサイトの普及

- ・必要なデータを探しやすい
- ・ポータルサイトとの情報連携が容易

さらに

- ・岐阜県内と他都道府県のポータルサイトとが連携した行政サービスも提供可能
- ・ポータルサイト間の連携による様々な民間サービスを提供可能

新たな行政
サービスの実現

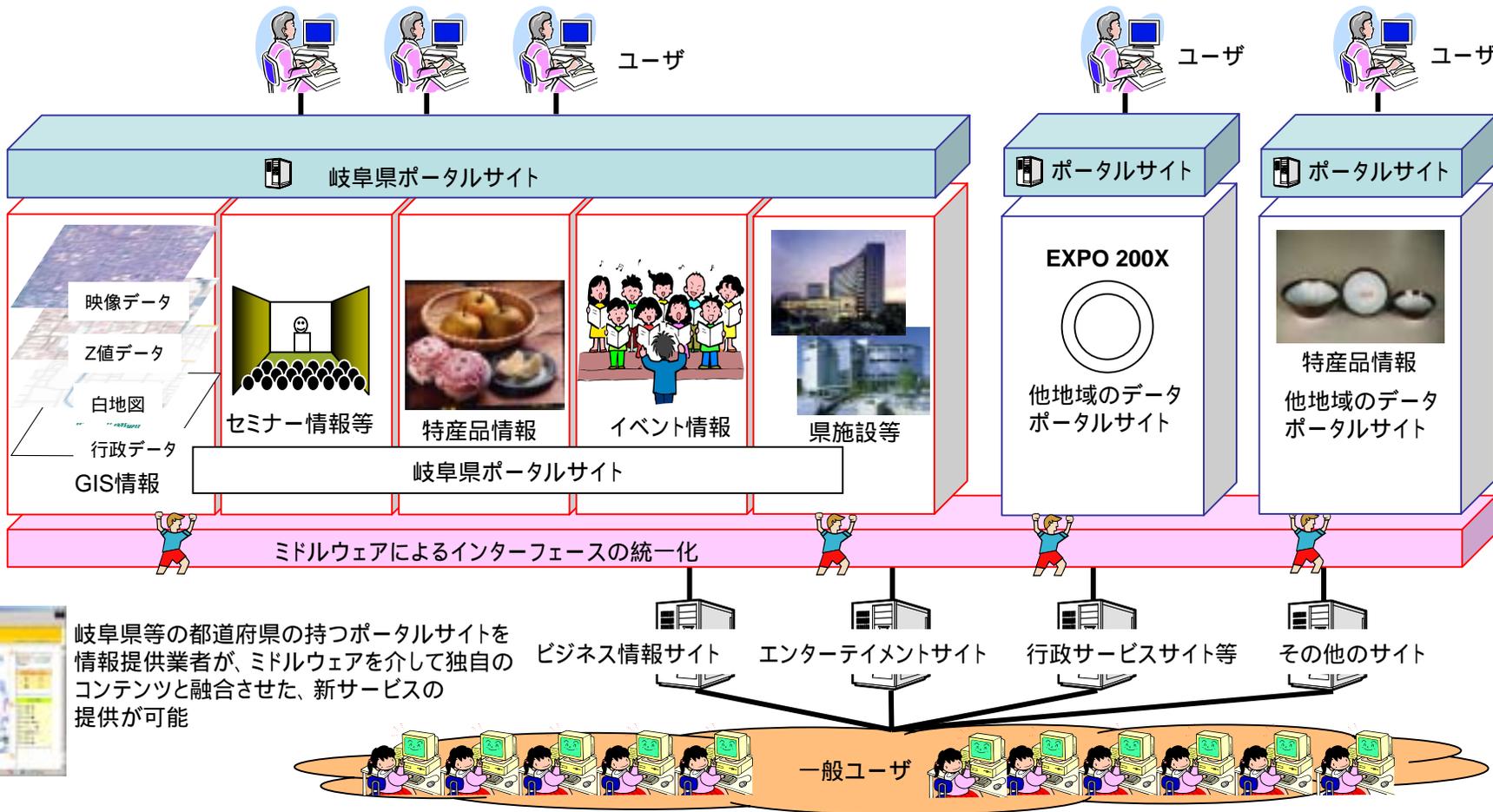
新たな
ビジネスの創出

岐阜ポータルプロジェクト

行政機関の有する多様な情報を統一インターフェースで提供することにより、新たな行政サービスや新ビジネスの積極的な創出を目指す。

現行
システム

提案
システム



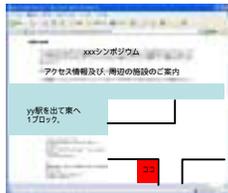
岐阜県等の都道府県の持つポータルサイトを情報提供者が、ミドルウェアを介して独自のコンテンツと融合させた、新サービスの提供が可能

事例
イベント情報発信サイト



全国イベント催しサイト
全国のポータルサイトから各種イベント情報を集めたサイト。サイトで独自の判断により推薦された場所では、特別に周辺施設の利用割引を実施等。

各サイトでの付加的な利用



公開講座等での地図情報提供
聴衆にわかりやすいアクセス情報を提供したり、また地図とリンクしたその周辺の特産品情報を提供して多くの人にその周辺の風土等を理解してもらう。

携帯端末での利用

位置情報サービスにおける付加情報
携帯電話でのGPSサービス(位置情報提供サービス)等において利用者が望めば近辺で行われているセミナー情報や、最近傍の県有の有料駐車場情報等について提供。

オープンリソースのコンセプト



- 行政リソースの活用
 - アプリケーションのインタフェース規定
 - インタフェースの公開
- アプリケーション開発促進
(OSベンダ非依存)

オープンリソースメリット



- 
- 行政側のメリット
 - 資産の有効利用
安価か
 - 省力化・コスト削減
 - 利用者側のメリット
 - 信頼性
 - 自由度

新たな 〔 アプリケーション
行政サービス 〕 の出現

オープンリソースの推進



- 
- オープンリソースプロジェクト
推進協議会・パイロット事業試行
 - 県有資産全般への拡大
 - 運営体制の整備
NPOも視野
 - 広域化